

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

更新

事業者名: 熊本電気鉄道株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		各事業所・フロアに企業理念及び会社方針を掲示して共有している。朝礼での企業理念の唱和で浸透している。企業理念に基づいた人事制度により、日々の業務に落とし込んで実践している。年度初めに会社方針や各部署方針を経営トップによる説明会や社内報で周知している。								8	9										17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		監査課を設置し、各部署におけるコンプライアンスに関する内部監査を実施している。																			16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		自治体の競争入札には適正な手続きを経た上で参加をしている。新規で発注する際、高額の場合などは相見積もりをもらうようになっている。										10									16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		各部署の若手社員で構成されるSDGs委員会を設立し、経営トップを責任者とした推進体制を整備し、SDGsに関わる課題解決に取り組んでいる。																			16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		【予定】著作物を使用する際のルールや知的財産に関する研修を2025年7月までに実施する。								8.2 8.3	9										16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報管理規程を作成、全従業員に周知している。また、入社時、退職時に個人情報保護に関しての説明を実施し、誓約書を締結させている。																			16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		バス、電車の運行に関して、社外の方にモニターとして参加していただき、安全運行や利便性向上に向けた意見聴取を行っている。																			16 17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		以前、販売代理店を行っていた環境配慮製品(主原料が石灰石のLIMEX)は別会社へ事業移管したが、社員の名刺は移管先から購入して環境配慮製品を継続して使用し、取引先にも名刺交換の際に環境配慮への認識を共有している。					5				8		10			12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		【予定】関係者で部署横断の組織を設立し、事業継続計画の策定・見直しを2025年3月までに行う。											9		11				13.1		16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		各部署に新卒で若手社員を配属し、組織の若返り化を進めている。									8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5				8					12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・定期的に全社員を対象としたハラスメント研修を実施している。 ・雇用している外国人及び障がい者については、それぞれの特性を考慮した人員配置・業務割当を行っている。 ・【予定】運転士の外国人採用のための社内制度を2025年3月まで整備する。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		現場を任される技術士が一堂に会し、事故防止、労働安全・環境改善等に向けた、小集団活動を実施している。労働基準協会主催の労働安全衛生に関する研修に毎年社員を受講させている。			3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。	●		社員の待遇改善や社内制度見直しの際には、同一労働同一賃金の原則に沿って、正社員と非正規社員で不合理な待遇差が無いよう対応している。また、定年後再雇用者には、希望に沿った勤務体系が選択できるような多様な働き方を用意し、それに見合った賃金設定の制度を整備している。					5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・勤怠管理システムを導入し、労働時間の適正管理を行っている。 ・毎週ノー残業デーを設定している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		新入社員から管理職まで階層別に適正な外部研修に毎年参加させ、一定期間後に振り返りの面談を実施し、効果測定を行っている。				4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・脳ドック、SAS(睡眠時無呼吸症候群)検査、インフルエンザ予防接種の会社負担による実施をしている。 ・健康に配慮した食事を促す補助制度として惣菜購入サービスを社内設置。 ・毎朝、各職場でラジオ体操を行っている。				3				8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・雇用している外国人及び障がい者については、それぞれの特性を考慮した人員配置・業務割当を行っている。 ・女性活躍推進に関する外部研修に参加させている。 ・高齢社員については、定年延長の一部実施、再雇用年齢上限上げ、週休3日や短時間などの多様な働き方で活躍できる制度を導入している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		Web会議を推奨し、会議もしくは取引先との商談をオンラインで行っている。			3					8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		DX推進を会社方針に掲げ、プロジェクトを立ち上げ、活動を開始している。社内基盤のシステム化を進めている。								8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		プライト企業に認定され、更新している。			3	4				8	9				12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト


















更新

事業者名: 熊本電気鉄道株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		PCB(ポリ塩化ビフェニル)、アスベストの使用箇所の把握、適正な管理・処分を実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1									
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		本社、各事業所、電車内、踏切等のLED化を進めている。 【予定】電力の使用量を2025年7月までに見える化し、使用量の削減を目指す。							7.3						13											
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		バス車両にデジタコを導入して、運行時の燃費効率(急加速・急発進など)をモニタリングし、運転士へ省エネ運転を指導して、CO2削減に繋げている。		2.4										12.4	13	14	15									
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・産業廃棄物(営業車両などの解体・廃棄)については、産業廃棄物処理施設として許可を受けた処理事業者へ依頼し、適正に処理された証明として産業廃棄物管理票(マニフェスト)を入手し保管している。 ・社員の名刺は、環境配慮製品(主原料が石灰石のLIMEX)を使用している。						6.6									14	15								
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		社内文書のペーパーレス化を推進している。営業所間の書類等のやり取りに一度使われた封筒を再利用している。									9.4			12.2	12.4	12.5	14.1	15								
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・井戸水や自社内で湧く温泉水を有効活用している。 【予定】・災害時の飲料水確保として、井戸水の水質調査を実施し、浄化システムの導入を検討する(2025年3月まで) 【予定】・事業所内に節水啓発の掲示と節水器具を設置する(2025年3月まで)						6.1					11.5			14.1	14.2	14.3	15		17					
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・社員の名刺は、環境配慮製品(主原料が石灰石のLIMEX)を使用している。 ・社内コピー用紙はFSC認証の製品を使用している。 ・リサイクル製品であるごみ袋を使用している。									9.4			12.4	12.5	13	14	15								
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		自社企画の販売食品については、消費期限を管理して期限切れ1ヶ月前に値下げして販売。また社内通知して社員販売を促進し、食品ロスの削減を図っている。	1	2					6.4							12.3		14	15			17				
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6	11.7		13.1	13.3	15			17				
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		環境配慮商品の販売代理店として、新電力(デマンドレスポンスサービスによる電気利用効率化)および太陽光パネルの販売を行っており、電気使用量削減および再生可能エネルギーの普及を事業を通して取り組んでいる。								7.1	7.2	7.3	7.a	9.4		11.5		13.1	13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6				9.4		11.3	11.4	11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1	6.3	6.6				11.3	11.4	11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			社内(社員)で使用したペットボトルは分別して廃棄。また、ペットボトルキャップは別に分別してまとめ、廃棄物処理事業者を通じて、エコキャップ推進協会へ送付して再資源化されている。												12.2	12.5		14								
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			【予定】2025年7月までに公共交通事業者として、マイカーではなく公共交通を利用した場合に、どの程度CO2が削減できるかを見える化する。										9.4		11.2			13.1	13.3							
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●															7.1	7.2	7.3	7.a	9.4		11.6	11.a	12.8	13			17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
																											
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		安全な運行サービスを提供するために、運輸安全マネジメント(安全管理体制の整備、安全目標の周知・社員教育、経営トップや運行部門への内部監査、マネジメントレビューなど)を実施している。社外モニター制度を実施し、安全運転の第三者チェックも行き、安全教育へフィードバックしている。			3.9						9			12.4										
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		各駅とも段差がないように設計、もしくはスロープを設置し、バスには簡易スロープを常備し、運転士が車椅子の方の乗降介助ができるよう整備している。また、当社の駅で定期的に障がい者の方と一緒に乗降体験を行い、介助について学んでいる。									9.1	10	11.7										17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15						17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15							
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		環境配慮商品の販売代理店として、新電力(デマンドレスポンスサービスによる電気利用効率化)および太陽光パネルの販売を行い、電気使用量削減および再生可能エネルギーの普及を事業を通して取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15					17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		沿線の学校行事等への協賛を継続的に行っている。各自治体の防災協議会に参加している。沿線の清掃活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		バス、電車の部署において、ハザードマップを共有し、防災対策を行っている。【予定】関係者で社内横断の組織を設立し、2025年3月までに事業継続計画を作成する。				4							11.5		13.1				16					
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1				16	17			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1								
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		社内SDGs委員会を設立し、社員教育も含め社内での普及活動を行っている。また、社内外へのSDGs普及推進のためのポスター作成や情報を発信する専用サイトを構築している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●		インターンシップを受け入れ、中学生から大学生まで職場体験の場を提供している。また、沿線の小学生、保育園児などのために駅、電車の見学会やバスの乗り方教室を定期的実施している。				4					8.6		10.2								17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●		高校、大学ともに県内の学校を中心に求人活動を行っている。県内出身者の採用促進のため、Uターン就職説明会などに積極的に参加している。					4.4				8.5 8.6										17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2			4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15				17	